

ナラのメイガの1種

8～9月にミズナラの葉を糸で綴るイモムシ（幼虫）。最大長約20mm。とぎれとぎれのうす茶色の縞が数本ある。たいてい複数の幼虫の巣がつながるため、巣は大きく目立つ。

ミズナラ若齢林で多発したことがある。成虫が得られていないため、正体不明。



1. 幼虫，体長18mm。1999/9/10。七飯町，ミズナラ。 2. 被害枝。1を含む集団の巣。

【学名】 不明， gen. et sp.

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， メイガ科 (Pyralidae)

【被害】

1999年に七飯町の若いミズナラ造林地で多発した。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ナラのメイガの1種 meiga/narano1/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/24.

1yochu.jpg, 1higai.jpg

「写真1～2」 原秀穂，北海道立林業試験場，1999.